

令和5年度第2回鹿児島県がん対策推進協議会議事概要

1 開催日時

令和6年1月30日（火） 午後4時～午後5時50分

2 出席者

委員17人（うちオンライン参加6人，代理2人）

3 協議事項

次期県がん対策推進計画案について

4 主な意見

○ 第1章「はじめに」～第5章「全体目標」

- ・ がん患者・家族の6年間を決める大切な計画になるので，この計画ができるだけいいものになり，そして実施できるものであることを目指してほしい。

○ 第6章「分野別施策及び個別目標」

1 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実

- ・ HPVワクチンの接種に関する施策について，積極的には推奨していない表現のように感じる。子宮頸がん予防のため，鹿児島県はHPVワクチンの接種率が低いという状況を鑑みた上で，県として，積極的な接種を推奨するという言葉を入れることはできないか。県として進めているということが伝わるとよいと思う。

2 患者本位で持続可能ながん医療の提供

- ・ がんの診断等には，病理や組織の検査が非常に重要であるが，現状，臨床病理医は減少しており，病理診断のデジタルパソロジー拠点及びネットワークを整備する必要があるのではないか。1施設ではできないため，県として取り組んでいただきたい。
- ・ 個別目標の「治療開始前に生殖機能への影響に関する説明を受けた40歳未満の患者等の割合」について，全国が52%なので目標値を50%に設定とのことであるが，妊孕性温存療法の情報提供というのは，後で取り返しがつかない問題でもあるので，50%は低いような気がする。再検討の上，高めていただきたい。
- ・ AYA世代のがん患者に対して，生殖機能への影響を伝えていないということは結構大きな問題だと思うが，伝えられない，説明をしない理由もあるのではないかと思う。なぜ医師が治療開始前に説明をしなかったのかということ突き詰めて考えないと，この目標値設定は難しいのかもしれない。

○ 第6章「分野別施策及び個別目標」

3 がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

- ・ 今回、計画の中にアピランスケアという項目が入り、ウィッグ購入費助成等のアピランスケアに係る助成について、43市町村での実施を目標値にするということであるが、目標達成に向けて、引き続き市町村への声かけ等をしていただきたい。
- ・ がんの治療をしながら仕事を続ける方が増えてきているが、そういった患者さんに寄り添う両立支援コーディネーターという方がいるので、そういう人材の育成を掲げてよいのではないかと思う。
- ・ 「その他の社会的な問題について」に関する個別目標については、現状・課題、施策等の中心的な部分の目標になっていないような気がする。何がいいのかは思い付かないが、離島という意味で言うと、鹿児島ならではの課題だと思うので、これだけではない目標設定も検討していただきたい。
- ・ 若い世代でがんにかかり、子育てとがん治療の両立を頑張っている方たちがたくさんいるので、きちんと患者さんたちに届くような支援を引き続きお願いしたい。

4 これらを支える基盤の整備

- ・ 鹿児島の医療をよくするためには、市民への啓発、やはり勉強してもらふ必要があると考える。昨年、大学の研究として、調剤薬局を利用した大腸がん検診が実施されたが、若い人の受診が大きく増えたと聞いている。調剤薬局の細かい草の根的なネットワークを利用して、もっと啓発活動や教育ができないものかと思う。
- ・ がん教育が検診受診率の向上に寄与しているかはデータとしては分からないが、2010年から「いのちの授業」に取り組んでおり、最初に授業を受けた子どもたちが10年以上経って大人になっている。その子どもたちが、がん教育をよく覚えていて、検診の大切さや身体を大事にするということをちゃんと覚えてくれているというのは実感としてあり、がん教育を続けていかなければならないと思う。
- ・ がん教育については、（外部講師の活用割合が）全国11%に対して、鹿児島県は26.8%もあるなど、他の県と比べて格段に進んでいる。県としてそれを売りにする、それをもっと伸ばすことで、がん教育が検診受診率向上に寄与したというデータまで出るとすごくいいと思う。

○ 第7章「進捗管理と評価」

- ・ 本協議会について、計画改定年度以外は年1回の開催であるが、回数を増やし、もっと協議する場を設けていただきたい。

○ その他

- ・ ペースメーカーを挿入された方はマンモグラフィ検査を受けられないが、リードレスであればを受けられるところもある。これから増えてくる可能性があり、県によっては検討が進んでいるところもあるので、鹿児島県でも勉強会や専門の先生方の中で検討していただければと思う。

5 その他

傍聴者 2人